高知県埋蔵文化財調査報告書第40集

平成６・７年度

高知県遺跡詳細分布調査概報

― 安芸ブロック ―

1996年3月

高知県教育委員会

平成六・七年度　高知県遺跡詳細分布調査概報　―安芸ブロック―　一九九六年三月　高知県教育委員会

序

遺跡（埋蔵文化財包蔵地）は、土地に刻まれた祖先の生活・文化の足跡であり、地域の歴史文化を解明するための貴重な歴史資料でもあります。また、わが国の歴史文化を正しく理解するために欠くことのできない文化遺産でもあります。これを保護し、後世へ伝えることは現代に生きる我々の責務であるとおもいます。そして、その保護が近年の地域開発の進展に伴って、極めて重要な課題となっています。

高知県教育委員会では、こうした状況から、県下における埋蔵文化財包蔵地について、その存在の周知徹底をはかり、かつ遺跡を保護するための基礎資料とすることを目的として、昭和61年度から10カ年計画で県下全域の詳細な遺跡分布調査を実施してきました。

この概報は、国庫補助事業として平成６・７年度に現地踏査し、新たに確認した142カ所を加え、総数226カ所余の安芸郡下遺跡分布調査概報であります。

今後、文化財保護の資料として役立ち、開発側との円滑な調査を行うための参考になれば幸いです。

おわりになりましたが、寒暑にかかわらず現地踏査等に御協力いただいた安芸郡下の教育委員会、並びに市町村文化財保護審議会委員をはじめとする多くの方々に深く感謝申し上げます。

平成８年３月

高知県教育委員会

教育長　山口勝己

例　　言

1　本書は、高知県教育委員会が平成６・７年度に国庫補助事業として実施した安芸郡下７町村の遺跡詳細分布調査及び、安芸市・室戸市が平成７年度に国庫補助事業として実施した市内遺跡詳細分布調査の概要報告書である。

2　調査地区は、下記の２市４町３村である。
室戸市・安芸市
東洋町・奈半利町・田野町・安田町・北川村・馬路村・芸西村

3　調査関係者は別表のとおりである。

4　本書に記載したものは、その所在が確認された埋蔵文化財包蔵地（遺跡）であり、原始から中世（一部近世）までのものである。ただし、伝承地などの未確認のものについては除いたものがある。

5　本書は、同じ刊行の『高知県遺跡地図－安芸ブロック－』｛(承認番号）平８四複、第８号｝の成果について説明したものであり、巻末に市町村遺跡地名を付した。

6　『高知県遺跡地図－安芸ブロック－』では、国土地理院発行の地形図（縮尺１／25,000）を使用し、古墳を●で示し、他の遺跡は全てその範囲を赤線で囲んだ。なお、消滅した遺跡は破線で表示している。

7　本書に記載した遺跡については各遺跡ごとに『埋蔵文化財包蔵地カード』を作成し、高知県教育委員会文化財保護室、高知県立埋蔵文化財センター及び、当該各市町村で保管している。

8　本書に記載した遺跡は、平成８年３月31日までに掌握した安芸郡及び室戸市・安芸市の遺跡をまとめたものである。

9　本書の編集には高知県教育委員会文化財保護室埋蔵文化財班があたった。

本　文　目　次

Ⅰ　調査の経過 …… 1
Ⅱ　調査対象地域 …… 2
Ⅲ　調査内容と成果 …… 3
　1．調査内容 …… 3
　2．調査成果 …… 4

挿　図　目　次

第1図　高知県遺跡詳細分布調査対象地域図 …… 1
第2図　平成6・7年度高知県遺跡詳細分布調査対象地域図 …… 2
第3図　市町村別遺跡数 …… 6
第4図　新発見遺跡数比率 …… 6
第5図　市町村別新発見遺跡種別数 …… 7
第6図　遺跡種別内訳 …… 8
第7図　市町村時代別遺跡数 …… 10
第8図　遺跡の種類別新発見数比率 …… 11

表　目　次

第1表　高知県遺跡詳細分布調査実施計画 …… 3
第2表　高知県遺跡詳細分布調査内容 …… 4
第3表　遺跡数一覧表 …… 5
第4表　時代別遺跡数一覧表 …… 9
第5表　市町村別遺跡名一覧 …… 12～21

平成６・７年度高知県遺跡詳細分布調査関係者一覧表

1　高知県遺跡詳細分布調査委嘱調査補助員

東洋町　原田　英祐　　奈半利町　中島　泰顕　　田野町　横山　文介

安田町　西尾　国治　　北川村　田中　利久　　馬路村　山中　　厳

芸西村　門脇　鎌久

2　各教育委員会関係者

高知県教育委員会　文化振興課

（平成６年度）

課　　長　大崎　博澄　　課長補佐　崎山弘太郎

埋蔵文化財班長　片岡　泰平

社会教育主事　門脇　　隆

社会教育主事　寺川　　嗣

高知県教育委員会　文化財保護室

（平成７年度）

室　　長　門田　伍朗　　室長補佐　崎山弘太郎

埋蔵文化財班長　片岡　泰平

社会教育主事　門脇　　隆

社会教育主事　寺川　　嗣

室戸市教育委員会

社会教育課長　升井　俊六

課長補佐　山下　美次

委嘱調査補助員　前田　和男

安芸市教育委員会

社会教育課長　野村　　裕

社会教育係長　高橋　洋紀

主　　事　岡村　忠志

委嘱調査補助員　岡林　幸郎

東洋町教育委員会

主　　監	島山　洋祐（平成７年度）
主　　幹	北川　晃彦
社会教育主事	伊吹真貴博（平成６年度）
委嘱調査補助員	原田　英祐

奈半利町教育委員会

社会教育主事	門田　　透
社会教育主事	濱内　恵一
委嘱調査補助員	中島　泰顕

田野町教育委員会

主任主事	有澤　文祐
委嘱調査補助員	横山　文介

安田町教育委員会

主　　幹	白石　京子（平成６年度）
主　　事	小松　加奈（平成７年度）
委嘱調査補助員	西尾　国治

北川村教育委員会

社会教育主事	田中　啓介
委嘱調査補助員	田中　利久

馬路村教育委員会

次　　長	清岡　博之（平成６年度）
次　　長	清岡　宏敏（平成７年度）
委嘱調査補助員	山中　　厳

芸西村教育委員会

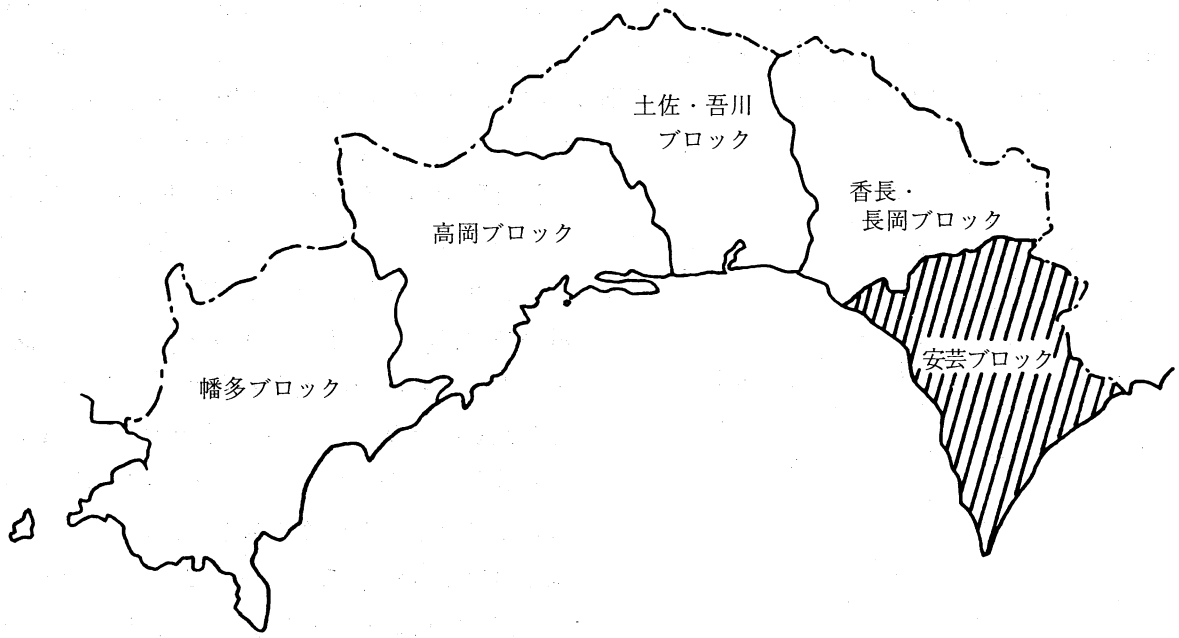
主　　任	池本　尚彦
委嘱調査補助員	門脇　鎌久

Ⅰ 調 査 の 経 過

近年、高知県内においても高速道路、各種バイパス等陸上交通網の整備、さらには空港拡張計画や工業団地造成計画等の公共事業や大規模開発が進行している。これに伴い緊急発掘調査の件数も急増しており、同時に遺跡保存にかかる事前の調査も増加している。これに対応するためには基礎資料となる正確な遺跡地図、遺跡台帳等が必要であるが、従前に刊行された『全国遺跡地図　高知県』（昭和51年）、『高知県中世城館分布調査報告書』（昭和58年）等の資料では不十分となってきている。

このような状況から、高知県教育委員会では県下各市町村の協力のもとに、より充実した遺跡分布地図と遺跡台帳の作成を目的として、昭和61年度より国庫補助を受け、10カ年計画で県内全域の遺跡詳細分布調査を実施することとした。

調査は県内５ブロックに分け、１ブロックを２年間で調査し、その成果として２年次に各ブロック単位の遺跡地図として刊行することとしている。すでに昭和61～62年度幡多ブロック、昭和63～平成元年度香美・長岡ブロック、平成２～３年度土佐・吾川ブロック、平成４～５年度高岡ブロックについてはそれぞれ調査を終了し、遺跡地図等を刊行している。平成６～７年度は安芸ブロック７町村を対象として調査を実施した。その成果は、室戸市・安芸市が平成７年度に国庫補助事業として実施した市内遺跡詳細分布調査の成果を併せて同時刊行の『高知県遺跡地図 －安芸ブロック－』としてまとめた。



第１図　高知県遺跡詳細分布調査対象地域図

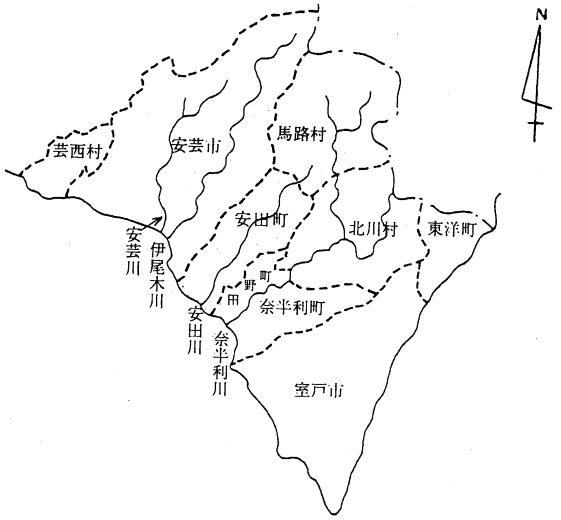
Ⅱ 調 査 対 象 地 域

今回の調査対象地は、安芸郡東洋町・奈半利町・田野町・安田町・北川村・馬路村・芸西村と室戸市・安芸市を加えた2市4町3村である。対象地の総面積は1,128.84㎢、総人口は66,821人（平成7年4月現在）で、高知県全体のそれぞれ15.8%、8.2%にあたる。

安芸郡は高知県の東端に位置し、北東は徳島県海部郡、南東は太平洋、南西は土佐湾に面する。北方の県境に近い甚吉森や千本山などの山並みが南下し、国の特別天然記念物である日本カモシカの絶好の生息地域となっており、太平洋に注ぐ東洋町の野根川、馬路から北川、奈半利を経て土佐湾に注ぐ奈半利川、馬路から安田へと流れる安田川は、山ひだに刻まれて谷は深い。郡西部には、安芸川、伊尾木川、和食川が土佐湾へと注ぎ、水の豊かな平野部を形成している。

安芸郡は、これまで県下でも遺跡の少ない地域といわれているが、安芸川東岸の丘陵部に位置する清水寺岡遺跡からは、サヌカイト製の翼状剥片が出土しており、県内では希少な旧石器時代を複合した中世までの遺跡である。縄文時代では、清水寺岡遺跡に加えて和食川西岸の海岸段丘上に、縄文時代後期の北屋敷遺跡がある。弥生時代に入ると、各河川下流域の沖積平野に生活の痕跡をみることができる。その中心は郡西部の平野部で、安芸川、伊尾木川の下流域の各遺跡に加えて芸西村の馬ノ上遺跡・附野遺跡、安田町の安田八幡宮遺跡、奈半利町の四手井山遺跡などがみられる。郡東部の海岸部では、東洋町の野根遺跡が知られているのみであるが、室戸市を流れる室津川の下流域の川辺から磨製石斧が発見されており、この河川域においても弥生時代の生活の跡がうかがわれる。古墳時代においても安芸平野に集落が発達していたようで、妙見山山麓に一ノ宮古墳、安田町東島に大木戸古墳があり、古墳時代末期の横穴式石室墳が三基発見されている。しかし、いずれも現在は消滅している。古代になると、安芸川下流西岸の平野には条里制の遺構が残るといわれ、この時期にはこの周辺が郡の中心であったことが推定できる。野根山の西麓には、コゴロク廃寺跡があり農業用水路建設の際に出土した瓦片等から、奈良時代中期の創建といわれ県東部における重要な古代寺院跡として注目される。平安時代には、空海ゆかりの最御崎寺や金剛頂寺等の真言宗寺院が建立されており、奈半利川流域の妙楽寺や安田川流域の金林寺や北寺等、古い創建を伝えている。平安時代中期以降には荘園が立荘され、奈半庄、和食庄がある。中世になると安芸城主である安芸氏の勢力下、東洋町野根の惟宗氏や北川村の北川氏らが割拠するが、戦国末期には長宗我部氏の支配下となり、近世の山内氏支配へと移行していく。安芸城跡周辺部は、まさに中世の安芸氏、長宗我部氏の支配から江戸時代山内家家老五藤氏へと土佐の武家社会の栄枯をたどる重要地点でもある。

ともあれ、安芸郡はこれまで発掘調査もそれによる出土遺物も極めて少ないため、考古学上未開の地といわれてきたが、安芸市周辺の平野部や海岸段丘からの発見遺物は、石器、金属器、土器等、各時代を網羅して豊富で、土佐湾に面する標高100メートルを越える海岸段丘上も注目地点であり魅力たっぷりの地域である。



第2図　平成6・7年度高知県遺跡詳細分布調査対象地域図

Ⅲ　調査内容と成果

1．調査内容

町村については、平成６・７年度に県教育委員会が主体となり、県の埋蔵文化財担当職員が各町村の文化財担当者及び文化財保護審議会委員等の協力を得るとともに、各町村１名の調査補助員を委嘱して実施した。また、市部については、平成７年度に市教育委員会が主体となり、文化財担当者を中心に文化財保護審議会委員の協力を得て、市が委嘱した調査補助員と共に、県教育委員会の指導、協力のもとに実施した。

調査の具体的な内容については、まず、調査を第１次～第３次まで区分してある。初年度の前半に第１次調査として、旧遺跡地図、旧遺跡台帳の確認と１／5,000地形図への範囲の記入を行い、さらに地名（字名、ホノギ等）、古文書、古地図等の資料による調査、未登録の出土遺物の確認を行い、地図上で踏査予定地域を選定した。初年度後半から次年度後半までの第２次調査は、第１次調査の結果に基づき現地踏査により遺物の表採を行い、遺跡の性格・範囲等の把握に全力を挙げた。第３次調査は第２次調査と並行しながら、現地踏査の結果をもとに、埋蔵文化財包蔵地カードを作成するとともに、１／25,000の地形図による遺跡地図の作成を行った。埋蔵文化財包蔵地カードには、遺跡の種類・名称・所在地等を記入し、さらに遺跡の全景写真、１／5,000の地形図を添付し、より詳細に遺跡の位置と範囲がわかるようにしてある。また、遺跡には一連の番号を付してあるが、第１表の市町村番号以下４桁により市町村別の番号としている。

＜例＞　１１　０００６

遺跡番号（コゴロク廃寺跡）

市町村番号（奈半利町）

調査年度	昭和61・62年度		昭和63年度・平成元年度		平成２・３年度		平成４・５年度		平成６・７年度	
区　域	幡多ブロック		香美・長岡ブロック		土佐・吾川ブロック		高岡ブロック		安芸ブロック	
該当市町村（番号は市町村番号）	07	中村市	04	南国市	01	高知市	05	土佐市	02	室戸市
	08	宿毛市	17	赤岡町	27	鏡村	06	須崎市	03	安芸市
	09	土佐清水市	18	香我美町	28	土佐山村	37	中土佐町	10	東洋町
	47	佐賀町	19	土佐山田町	29	土佐町	38	佐川町	11	奈半利町
	48	大正町	20	野市町	30	大川村	39	越知町	12	田野町
	49	大方町	21	夜須町	31	本川村	40	窪川町	13	安田町
	50	大月町	22	香北町	32	伊野町	41	大野見村	14	北川村
	51	十和村	23	吉川村	33	池川町	42	梼原町	15	馬路村
	52	西土佐村	24	物部村	34	春野町	43	東津野村	16	芸西村
	53	三原村	25	本山町	35	吾川村	44	葉山村		
			26	大豊町	36	吾北村	45	仁淀村		
							46	日高村		

第１表　高知県遺跡詳細分布調査実施計画

年　度	調査名	目　的	調　査　項　目
初年度前半	第1次調査	旧遺跡地図及び文献資料等の確認、踏査地域の選定	(1) 旧遺跡地図、遺跡台帳、市町村史など手掛りとして地形図（原則として1／5,000）に周知の遺跡を正確に記入 (2) 聞きとり調査 (3) 地名（字名、ホノギ等）による調査 (4) 古絵図、古文書等による調査 (5) 関係町村に保管されている遺物から出土地点確認 (6) (1)～(5)等に基づき、路査地域の選定
初年度後半及び次年度	第2次調査	1次調査に基づく現地調査	(1) 遺物の表採とチェック (2) 地形図（1／5,000）に記入 (3) 埋蔵文化財包蔵地調査カードに記入 (4) 現状の写真撮影 (5) 略測
次年度	第3次調査	遺跡分布地図の作成	(1) 埋蔵文化財包蔵地調査カードの清書 (2) 表採遺物の整理 (3) 遺跡地図清書 (4) 地形図（1／25,000）への遺跡転写 (5) 各種資料作成 (6) 遺跡地図の作成

第2表　高知県遺跡詳細分布調査内容

2. 調査成果

① 遺跡総数

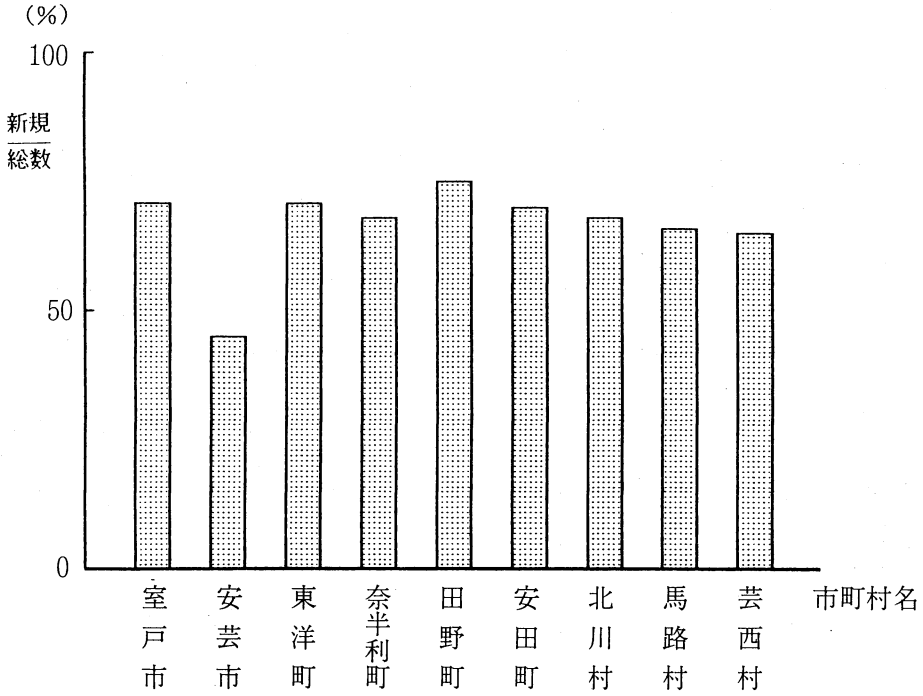
安芸郡下における遺跡総数は226か所で、新発見の遺跡数は142か所であった。これは、全体の約63%を占める。また、周知の遺跡として挙げた中の半数近くについては、旧遺跡としての名称はあるもののその詳細は不明で、今回の調査を契機に資料整備を行なった。

種別 / 市町村	散布地			集落跡			城館跡			古墳			社寺跡			古墓		
室戸市	1	22	23	0	0	0	8	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0
安芸市	21	25	46	1	0	1	10	0	10	1	0	1	0	0	0	1	0	1
東洋町	1	9	10	0	1	1	7	0	7	0	0	0	0	2	2	0	1	1
奈半利町	1	6	7	0	0	0	3	0	3	0	0	0	1	5	6	0	1	1
田野町	0	9	9	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
安田町	1	10	11	0	0	0	1	1	2	1	0	1	0	1	1	0	0	0
北川村	0	6	6	0	0	0	5	0	5	0	0	0	0	1	1	0	1	1
馬路村	0	8	8	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
芸西村	4	12	16	0	0	0	4	0	4	0	0	0	0	2	2	0	0	0
合計	29	107	136	1	1	2	42	1	43	2	0	2	1	11	12	1	3	4

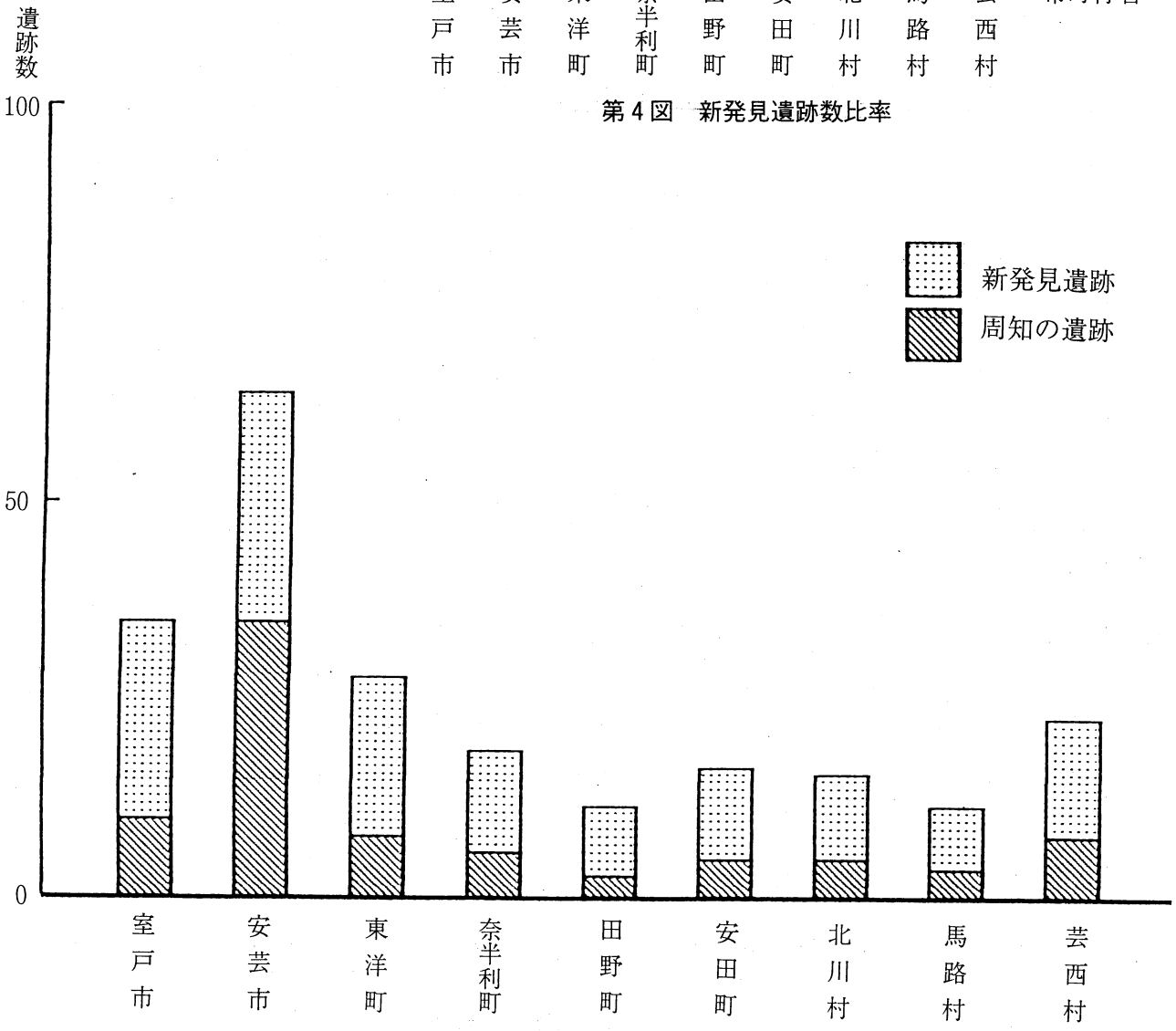
種別 / 市町村	経塚			窯跡			その他			合計		
室戸市	1	0	1	0	0	0	0	3	3	10	25	35
安芸市	0	0	0	0	2	2	1	2	3	35	29	64
東洋町	0	0	0	0	0	0	0	7	7	8	20	28
奈半利町	0	0	0	1	1	2	0	0	0	6	13	19
田野町	0	0	0	0	0	0	1	0	1	3	9	12
安田町	1	0	1	1	0	1	0	0	0	5	12	17
北川村	0	0	0	0	0	0	0	3	3	5	11	16
馬路村	0	0	0	0	0	0	2	0	2	4	8	12
芸西村	0	0	0	0	0	0	0	1	1	8	15	23
合計	2	0	2	2	3	5	4	16	20	84	142	226

（三枠内数値について、左枠：周知　中枠：新発見　右枠：合計）

第3表　遺跡数一覧表



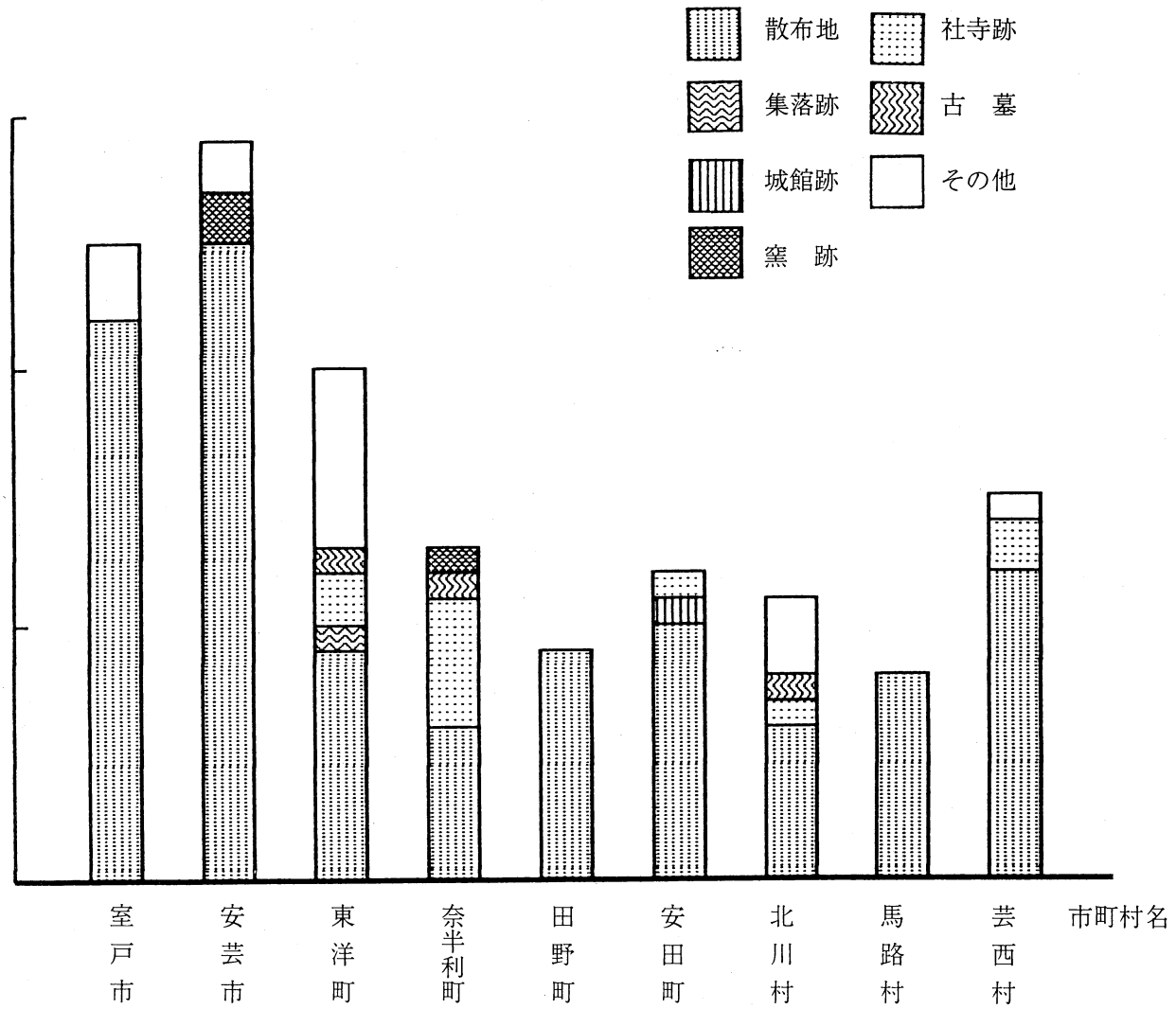
第4図　新発見遺跡数比率



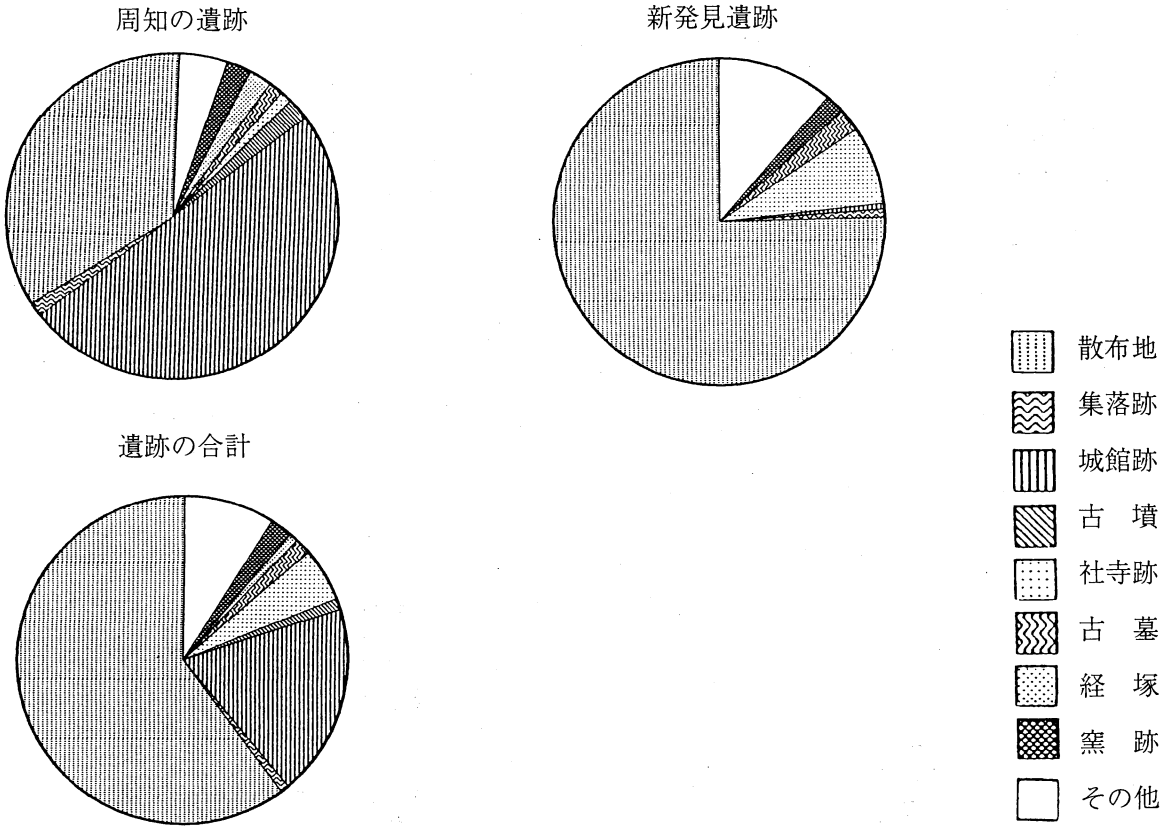
第3図　市町村別遺跡数

② 遺跡の種別

既に完了している４ブロック同様、散布地と城館跡の比率が高く、その合計数は179か所にのぼり全体の約８割を占める。また、野根山街道の番所跡を中心に中世から近世にかけての交通遺跡の存在が特徴的で、第３表では“その他”に含めたが、その半数近くを占めている。また、過去の調査において236基を数えた古墳は、周知の古墳が安芸市に１基、安田町に１か所の古墳群が（いずれも消滅）あるのみで新たな古墳を確認することはできなかった。特に、安芸市においては、11か所にのぼる古墳時代の遺跡を数えるが古墳の新たな発見はなく、今後の調査に課題を残した。しかし、散布地については、安芸郡下全体で4.6倍増という飛躍的な成果をおさめ、今後の埋蔵文化財保護のための基本的な整備が完了したことは意義深い。



第５図　市町村別新発見遺跡種別数



第６図　遺跡種別内訳

② 時代別遺跡数

旧石器時代の遺跡は、周知の遺跡であった安芸市の清水寺岡遺跡のわずか１か所であり、新たな発見をもたらすことはできなかった。

縄文時代の遺跡については、今回の調査に大きな期待がもたれたが、周知の２遺跡に新たな20か所の発見を加え、100メートルを超す海岸段丘上や中山間部の河岸段丘上で調査成果をあげることができた。室戸市の海岸段丘上で表採した姫島産黒曜石の剥片をはじめ、チャート製の石鏃並びにサヌカイト製の石鏃や石包丁など、多くの剥片とともに良好な資料に恵まれている。特に、谷が深く河岸段丘域が狭いため、縄文遺跡の発見は困難かと思われた奈半利川の中流域において、僅か１か所ではあるが確認できたことは、北川村のみならず安芸郡下の各河川の中流域から上流域にかけても、縄文人の生活の痕跡を辿れる可能性を秘めている。

弥生時代の遺跡は安芸郡下で49か所にのぼり、なかでも安芸市がその半数を数え、安芸平野周辺に青銅器をはじめとする様々な発見遺物も多い。

古墳時代になると、周知の古墳２か所があるがいずれも消滅している。ただ、15か所の散布地を確認することができ、今後、発掘調査が入ることがあれば安芸郡下における古墳時代の様相も徐々に解明されるであろう。

古代、中世に入ると散布地の数も急増し、190か所を数えた。また、近世においては、野根山街道を中心に点在する番所跡や室戸市に残る捕鯨のための物見跡、さらには民陶として藩政期以降、地域に根ざしてきた内原野窯をはじめとする窯跡等を22か所確認した。

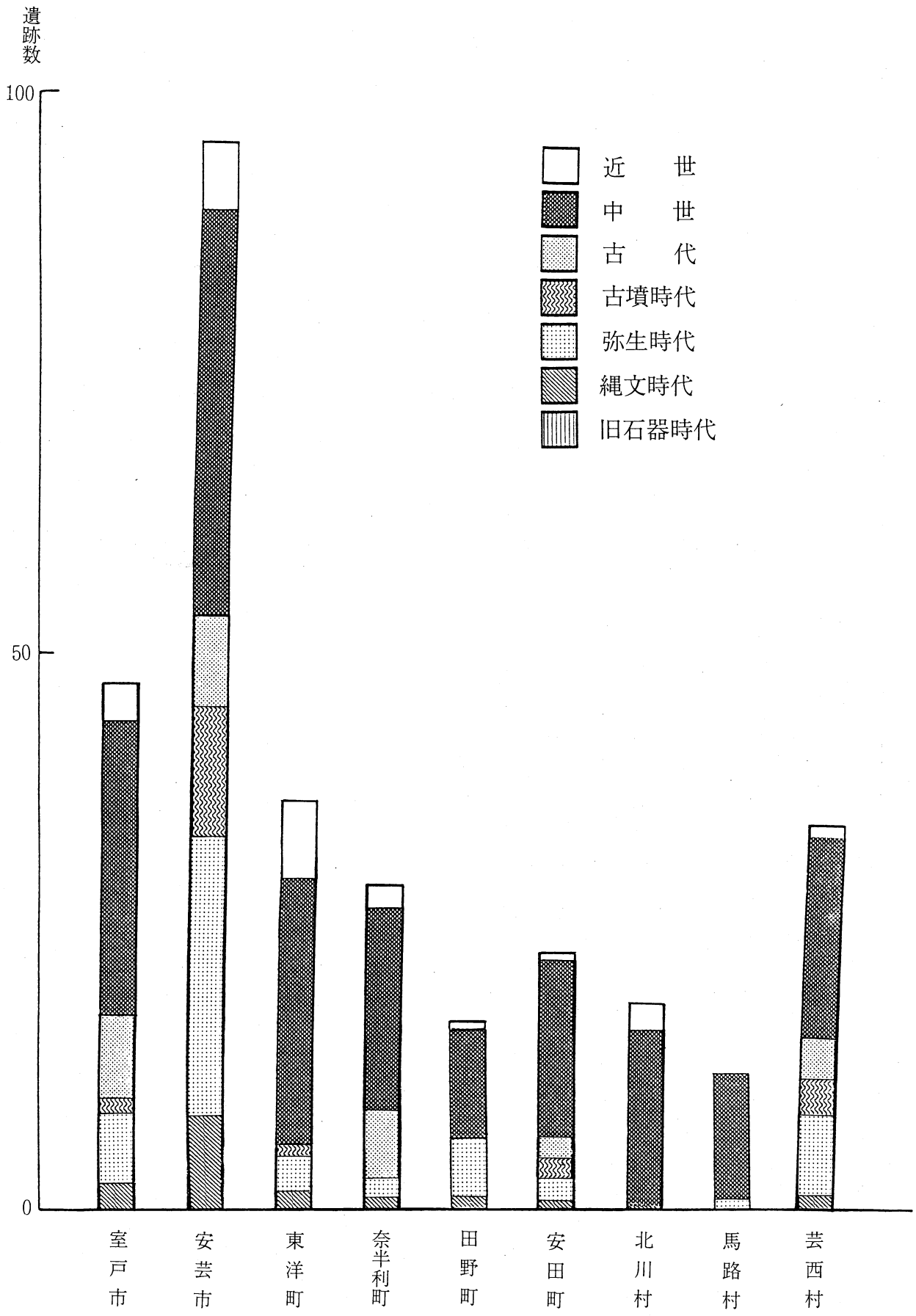
市町村＼種別	旧石器			縄文			弥生			古墳			古代			中世		
室戸市	0	0	0	0	3	3	1	5	6	0	1	1	0	7	7	9	16	25
安芸市	1	0	1	1	6	7	19	5	24	6	5	11	3	5	8	16	18	34
東洋町	0	0	0	0	2	2	1	2	3	0	0	0	0	1	1	8	14	22
奈半利町	0	0	0	0	2	2	1	1	2	0	0	0	2	3	5	3	14	17
田野町	0	0	0	0	2	2	0	5	5	0	0	0	0	0	0	2	6	7
安田町	0	0	0	0	1	1	1	1	2	1	1	2	0	2	2	2	12	14
北川村	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	10	15
馬路村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	2	8	10
芸西村	0	0	0	1	1	2	3	4	7	2	1	3	1	2	3	5	12	17
合計	1	0	1	2	18	20	26	23	49	9	8	17	8	20	28	52	110	162

市町村＼種別	近世			合計		
室戸市	0	3	3	10	35	45
安芸市	3	3	6	49	42	91
東洋町	1	6	7	10	25	35
奈半利町	1	1	2	7	21	28
田野町	1	0	1	3	13	16
安田町	1	0	1	5	17	22
北川村	0	2	2	5	13	18
馬路村	0	0	0	4	8	12
芸西村	0	1	1	12	21	33
合計	7	16	23	105	195	300

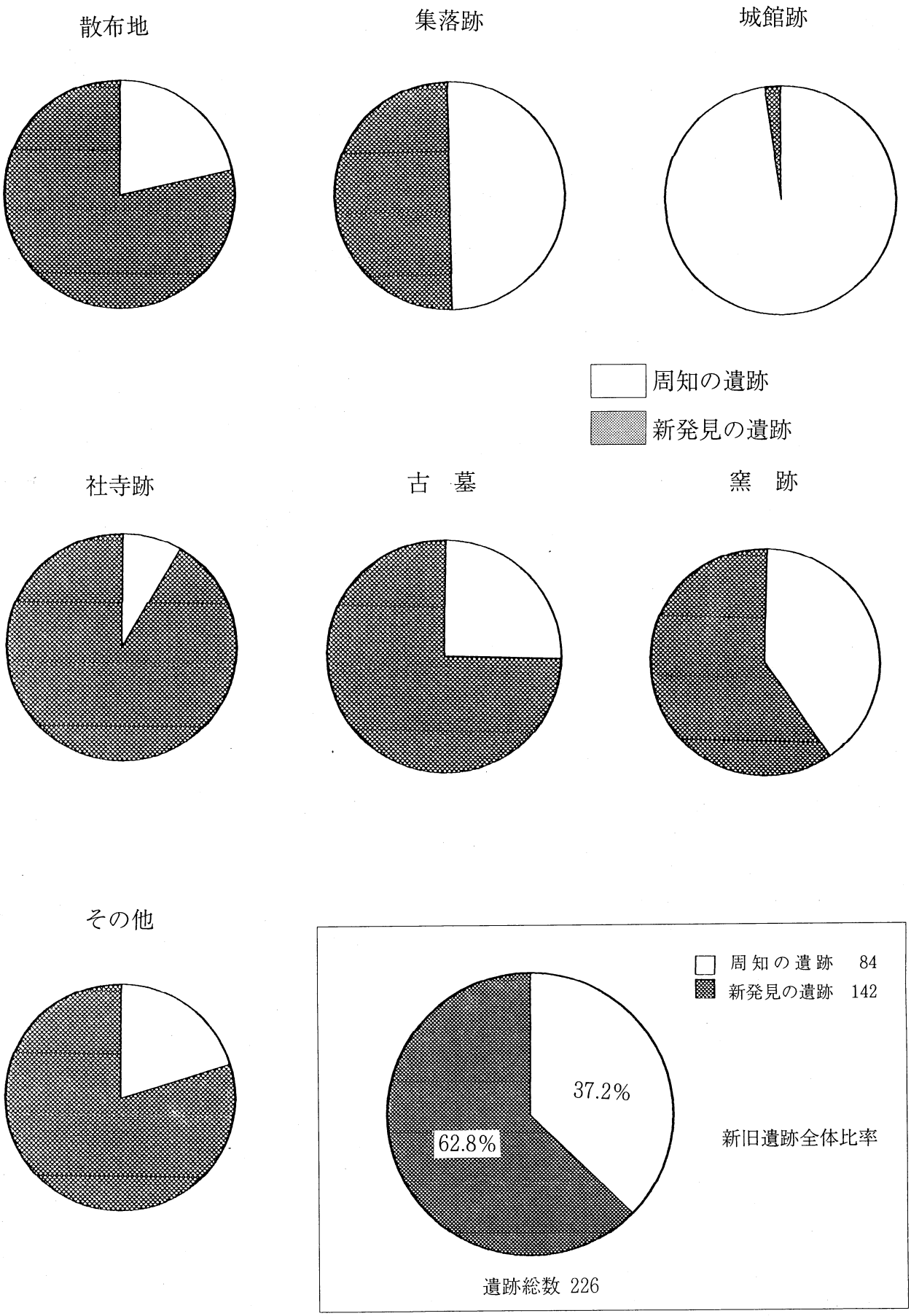
（三枠内数値について、左枠：周知　中枠：新発見　右枠：合計）

※遺跡総数に比べて、時代別遺跡数が増えているのは、２つ以上の時代にまたがる複合遺跡があるためです。

第４表　時代別遺跡数一覧表



第7図　市町村別各時代遺跡数



第８図　遺跡の種類別新発見数比率

第5表 遺 跡 地 名 表

室　戸　市

地図No.	市町村No.	名　称	所　在　地	種　別	現　況	時　代	備　考
15- 3	020001	岩佐番所跡	室戸市佐喜浜町岩佐	交　通	山　林	近　世	
15- 1	020002	入木遺跡	〃 佐喜浜町入木	散布地	田　畑	古代・中世	
15- 2	020003	久保田遺跡	〃 佐喜浜町入木	〃	宅地・田畑	中　世	
18- 5	020004	根丸遺跡	〃 佐喜浜町根丸	〃	畑	〃	
18- 3	020005	佐喜浜城跡	〃 佐喜浜町舟場	城館跡	山　林	〃	
18- 2	020006	舟場遺跡	〃 佐喜浜町舟場	〃	〃	〃	
18- 4	020007	佐喜浜経塚	〃 佐喜浜町矢立	古　基	基　地	〃	
17- 6	020008	ニウジ遺跡	〃 羽根町田の中	散布地	宅地・畑	〃	
17- 7	020009	羽根城跡	〃 羽根町西の浜	城館跡	山　林	〃	
17- 8	020010	尾僧城跡	〃 羽根町岡山	〃	〃	〃	
17- 9	020011	尾僧遺跡	〃 羽根町尾僧	散布地	田　畑	古代・中世	
17-10	020012	戎町遺跡	〃 羽根町戎町	〃	宅　地	弥　生	
17-11	020013	西地遺跡	〃 吉良川町西山	〃	宅地・田畑	〃	
17-12	020014	灘大囲遺跡	〃 吉良川町磯原	〃	畑	縄　文	
19- 1	020015	正毛遺跡	〃 吉良川町正毛	〃	田　畑	弥生・古墳	
19- 2	020016	コヤガ谷遺跡	〃 吉良川町コヤガ谷	〃	学校・保育園・畑	弥生・中世	
19- 3	020017	青（阿緒）城跡	〃 吉良川町古城	城館跡	畑・果樹園	中　世	
19- 6	020018	内の川遺跡	〃 吉良川町内の川	散布地	田　畑	〃	
19- 4	020019	宮の内遺跡	〃 吉良川町宮の内	〃	〃	古代・中世	
19- 5	020020	吉良川城跡	〃 吉良川町下馬取屋	城館跡	山　林	中　世	
19- 7	020021	傍士山遺跡	〃 吉良川町傍士	〃	〃	縄　文	
18- 1	020022	日南遺跡	〃 吉良川町日南	散布地	田　畑	中　世	
19-20	020023	椎名捕鯨山見跡	〃 室戸岬町椎名山見	捕鯨山見跡	山　林	近　世	
19- 9	020024	崎山遺跡	〃 元崎山	散布地	〃	古代・中世	
19- 8	020025	北カリヤ遺跡	〃 元崎山	〃	畑	縄文・中世	
19-10	020026	脇地遺跡	〃 元脇地	〃	田　畑	古代・中世	
19-11	020027	浮津城跡	〃 浮津松本	城館跡	山　林	中　世	
19-14	020028	室津城跡	〃 室津字中山	〃	〃	〃	
19-15	020029	下里遺跡	〃 室津下里	散布地	宅地・田畑	弥生・古代	
19-12	020030	室津遺跡	〃 室津	〃	宅　地	弥　生	
19-16	020031	蔵戸遺跡	〃 室津蔵戸	〃	〃	中　世	
19-13	020032	室津浦城跡	〃 室津字古城	城館跡	山　林	〃	
19-17	020033	津呂捕鯨山見跡	〃 室戸岬町津呂	捕鯨山見跡	〃	近　世	
19-18	020034	泉の南遺跡	〃 室戸岬町高岡泉の南	散布地	畑	古代・中世	
19-19	020035	五代田遺跡	〃 三津五代田	〃	宅地・畑	中　世	

地図No.	市町村No.	名称	所在地	種別	現況	時代	備考
5- 1	030001	畑山遺跡	安芸市畑山字宮ノ前	散布地	田畑	中世	
5- 2	030002	畑山氏居館跡	〃 畑山字ナロ	城館跡	学校跡地	〃	
5- 3	030003	畑山城跡	〃 畑山字地蔵田	〃	山林・墓地	〃	
9-43	030004	大井遺跡	〃 大井	散布地	田畑	〃	
8-24	030005	原ヤシキ遺跡	〃 赤野字原ヤシキ	〃	〃	弥生～中世	
8-25	030006	サセブ原遺跡	〃 赤野字サセブ原	〃	〃	中世	
8-27	030007	仙頭城跡	〃 赤野字仙頭城	城館跡	宅地・田畑・神社	〃	
8-26	030008	赤野窯跡	〃 赤野字タリウド	窯跡	田	近世	
8-28	030009	ハンノス遺跡	〃 赤野東赤野	散布地	宅地・田畑	〃	
8-29	030010	磯道遺跡	〃 赤野磯道北平	〃	畑	〃	
8-30	030011	穴内城跡	〃 穴内字古城奈路	城館跡	畑・墓地	〃	
8-31	030012	道北遺跡	〃 穴内八丁	散布地	田畑	縄文・中世	
8-32	030013	普当ノ畝遺跡	〃 穴内新城	〃	畑	〃	
8-33	030014	新城城跡	〃 穴内字古城	城館跡	〃	中世	
9- 4	030015	山田遺跡	〃 井ノ口山田	散布地	果樹園	弥生	
9- 3	030016	西妙見谷遺跡	〃 井ノ口字西妙見谷	〃	田	〃	
9- 1	030017	小谷遺跡	〃 井ノ口字小倉谷	〃	〃	〃	
9- 2	030018	宮ノ上遺跡	〃 井ノ口	〃	宅地・田畑	〃	
9- 5	030019	笹原遺跡	〃 井ノ口	〃	田	中世	
9- 6	030020	野神遺跡	〃 井ノ口字野神	〃	畑	古墳	
9- 7	030021	善次屋敷遺跡	〃 井ノ口	〃	田畑	中世	
9- 8	030022	内原野窯跡群	〃 井ノ口	窯跡	宅地・畑	近世	
9- 9	030023	勇前遺跡	〃 川北	散布地	畑	古代	
9-42	030024	中野遺跡	〃 川北字中野	〃	〃	縄文・中世	
9-10	030025	マテダ遺跡	〃 井ノ口	〃	田畑	古墳・中世	
9-12	030026	清近岡遺跡	〃 井ノ口	〃	宅地	弥生	一部消滅
9-11	030027	一ノ宮古墳	〃 井ノ口字北岡	古墳	畑	古墳	消滅
9-13	030028	瓜尻遺跡	〃 土居	散布地	田畑	古墳・中世	
9-16	030029	日林坊遺跡	〃 川北字日林坊	墳基	墓地	弥生	
9-15	030030	鶴ケ丘遺跡	〃 川北字鶴ケ丘	住居跡	山林・田畑	〃	
9-17	030031	神谷遺跡	〃 川北江川	散布地	山林・畑	〃	
9-18	030032	妙見山遺跡	〃 井ノ口字氏神谷	〃	〃	中世	
9-19	030033	高台寺遺跡	〃 井ノ口	〃	宅地・畑	弥生	
9-20	030034	植野城跡	〃 黒鳥字城山	城館跡	山林・墓地	中世	
9-21	030035	ジュウマン遺跡	〃 土居	散布地	田畑	弥生～古代	

安　芸　市　No.2

地図No.	市町村No.	名　　称	所　在　地	種　別	現　況	時　代	備　考
9-30	030036	シガ屋敷遺跡	安芸市土居	散布地	宅地・田	弥生・近世	
9-27	030037	春日遺跡	〃　土居	〃	田畑	中世	
9-31	030038	清水寺岡遺跡	〃　川北	〃	学校・畑・宅地	旧石器・縄文・弥生・中世	
9-32	030039	安芸次郎城跡	〃　川北	城館跡	山林	中世	
9-34	030040	安芸太郎城跡	〃　川北	〃	〃	〃	
9-33	030041	西ノ島遺跡	〃　川北	散布地	田畑	古墳	
9-22	030042	黒鳥遺跡	〃　黒鳥	〃	宅地・田	弥生～近世	
9-24	030043	上エヒイ遺跡	〃　宝永町	〃	〃	中世	
9-25	030044	ヤナギダ遺跡	〃　西浜	〃	田	〃	
9-26	030045	河原田遺跡	〃　東浜	〃	〃	弥生	
9-28	030046	玉造遺跡	〃　土居字ユウチ	〃	畑	古墳	
9-29	030047	金政遺跡	〃　東浜	〃	田畑	弥生	
13- 1	030048	江ノ川畔遺跡	〃　久世町	〃	公園	〃	
13- 2	030049	安芸橋畔遺跡	〃　川北字大開キ	〃	田畑	〃	
9-41	030050	奈比賀遺跡	〃　奈比賀	〃	宅地・田	中世	
9-40	030051	奈比賀城跡	〃　川北字ワル谷	城館跡	山林	〃	
9-36	030052	山田山遺跡	〃　川北字山田山	散布地	宅地・畑	弥生	
9-35	030053	高士山遺跡	〃　川北字高士山	〃	宅地・田・山林	〃	
9-37 13- 3	030054	上島遺跡	〃　川北上島	〃	田畑	〃	
9-38	030055	猫ケ内遺跡	〃　伊尾木字猫ケ内	〃	〃	中世	
9-39	030056	切畑遺跡	〃　伊尾木	〃	田	弥生	
13- 4	030057	岡遺跡	〃　伊尾木	〃	田畑	弥生～近世	
13- 5	030058	有井城跡	〃　伊尾木字古城	城館跡	山林・畑	中世	
13- 9	030059	旭ケ丘遺跡	〃　下山	散布地	畑	古代	
13- 6	030060	土佐街道跡	〃　下山	交通	山林	近世	
13- 7	030061	境谷遺跡	〃　下山字境谷	散布地	田畑	縄文	
13- 8	030062	源七遺跡	〃　下山字源七	〃	田	〃	
9-14	030063	安芸城跡	〃　土居字土居跡	城館跡	山林・宅地・畑	中世	
9-23	030064	安芸国虎基	〃　黒鳥浄貞寺	古墓	社寺境内	〃	

東　洋　町

地図No.	市町村No.	名称	所在地	種別	現況	時代	備考
12 -1	100001	八島千軒遺跡	東洋町野根押野	集落跡	宅地・田畑	中世	
12- 2	100002	野根備後守惟宗益長宝篋印塔	〃 野根押野	古墓	山林	〃	
12- 3	100003	内田城跡	〃 野根内田	城館跡	〃	〃	
12- 4	100004	野根小学校遺跡	〃 野根丙	散布地	学校・田畑	弥生	
12- 5	100005	野根城跡	〃 野根中村古土居	城館跡	宅地・畑	中世	
12- 6	100006	野根遺跡	〃 野根中村	散布地	営林署敷地・宅地	弥生・中世	
12- 7	100007	港久保遺跡	〃 野根港久保	〃	宅地・畑	中世	
12- 8	100008	心経ケ芝遺跡	〃 野根心経ケ芝	〃	〃	古代・中世	
12- 9	100009	野根寺院群跡	〃 野根寺町	社寺跡	社寺境内・宅地	中世	
12-10	100010	愛宕城跡	〃 野根馬ケ瀬	城館跡	山林	〃	
12-11	100011	ゴセン遺跡	〃 野根東町	散布地	宅地・畑	縄文・弥生・中世	
12-12	100012	下勘定遺跡	〃 生見	〃	〃	中世	
12-13	100013	御乳母田遺跡	〃 生見	〃	〃	〃	
12-14	100014	上勘定遺跡	〃 生見	〃	〃	〃	
12-15	100015	丹波屋敷跡	〃 河内丹波屋敷	屋敷跡	荒地	〃	
12-16	100016	元越番所跡	〃 河内角廻口	交通	田畑	近世	
12-17	100017	小池遺跡	〃 河内小池	散布地	宅地・畑	中世	
12-18	100018	甲浦原城跡	〃 河内小池	城館跡	山林	〃	
12-19	100019	甲浦古城跡	〃 甲浦古城山	〃	山林・畑	〃	
12-20	100020	高尾遺跡	〃 甲浦字東町	散布地	〃	縄文	
12-21	100021	真静寺跡	〃 甲浦字東町	社寺跡	〃	中世	
12-22	100022	東股番所跡	〃 甲浦字東股	交通	宅地		
12-23	100023	御殿山城跡	〃 甲浦	城館跡	山林	中世	
12-24	100024	浅宇津遠見番所跡	〃 甲浦字浅宇津	交通	山林・荒地	中世・近世	
12-25	100025	葛島遺跡	〃 甲浦葛島	〃	〃	近世	
16- 2	100026	伏越番所跡	〃 野根字伏越	〃	山林	〃	
11- 3	100027	川口番所跡	〃 野根川口	〃	宅地	〃	
11- 4	100028	丸山城跡	〃 野根名留川つづら	城館跡	山林	中世	

奈半利町

地図No.	市町村No.	名称	所在地	種別	現況	時代	備考
14-18	110001	奈半泊遺跡	奈半利町ナカズ後	散布地	田	古代・中世	
14-19	110002	寿福寺跡	〃 藪田	社寺跡	畑	中世	
14-20	110003	奈半利城跡	〃 乙1648	城館跡	学校	〃	
14-21	110004	弓場遺跡	〃 弓場	散布地	宅地・畑	〃	
14-22	110005	城台寺跡	〃 中島	社寺跡	田畑	〃	
14-23	110006	コゴロク廃寺跡	〃 中川原	〃	〃	古代	
14-24	110007	四手井山遺跡	〃 四手井岡	散布地	山林・田畑	弥生	
14-25	110008	奈半利窯跡	〃 四手井岡	窯跡	〃	古代・近世	
14-26	110009	カラツ山窯跡	〃 正月ケ谷	〃	山林	近世	
14-27	110010	北岡城跡	〃 乙3141-2	城館跡	山林・田畑	中世	
14-28	110011	普光院跡	〃 普光院	社寺跡	畑	〃	
14-29	110012	中里遺跡	〃 中里	〃	宅地・田畑	弥生・古代・中世	
14-30	110013	光学寺跡	〃 車瀬	〃	〃	中世	
17- 1	110014	神宮寺・法恩寺跡	〃 法恩寺	社寺跡	宅地・畑	〃	
17- 2	110015	北川玄蕃の息女乳母の墓	〃 法恩寺	古墓	社寺境内	〃	
17- 3	110016	岡城跡	〃 乙4579～5番	城館跡	山林	〃	
17- 4	110017	平遺跡	〃 平	散布地	畑	古代・中世	
17- 5	110018	久礼岩遺跡	〃 久礼岩	〃	〃	縄文・中世	
17- 6	110019	大佐手遺跡	〃 大佐手	〃	〃	〃	

田　野　町

地図No.	市町村No.	名　称	所　在　地	種　別	現　況	時　代	備　考
14- 5	120001	田野城跡	田野町琴平	城館跡	山林・畑	中世	
14- 6	120002	赤井畑遺跡	〃 赤井畑	散布地	田畑	古代・中世	
14- 7	120003	大野遺跡	〃 大野	〃	〃	中世	
14- 8	120004	立町遺跡	〃 立町	〃	宅地・畑	弥生・中世	
14- 9	120005	田野小学校遺跡	〃 924-1	〃	学校・宅地・畑	古代・中世	
14-10	120006	千福遺跡	〃 千福	〃	田畑	中世	
14-11	120007	岡地遺跡	〃 岡地	〃	畑	縄文・弥生・中世	
14-12	120008	郡奉行所跡	〃 1203-4	奉行所跡	学校	近世	
14-13	120009	高田遺跡	〃 高田	散布地	畑	弥生	
14-14	120010	高田城跡	〃 高田一本松	城館跡	山林・畑	中世	
14-15	120011	土生岡遺跡	〃 土生岡	散布地	宅地・田畑	弥生	
14-16	120012	築地遺跡	〃 土生岡	〃	田畑	縄文・弥生	

安　田　町

地図No.	市町村No.	名　称	所　在　地	種　別	現　況	時　代	備　考
13-10	130001	西北遺跡	安田町唐浜西北	散布地	宅地・田畑	中世	
13-11	130002	中松原遺跡	〃 唐浜	〃	〃	古代・中世	
13-12	130003	岡遺跡	〃 唐浜岡	〃	宅地・畑	中世	
13-13	130004	養心庵跡	〃 唐浜岡	社寺跡	〃	〃	
13-14	130005	安田八幡宮遺跡	〃 安田	散布地	社寺境内	弥生	
13-15	130006	小野山遺跡	〃 安田小野山	〃	宅地・畑	中世	
13-16	130007	安田窯跡	〃 安田寺山	窯跡	畑	近世	
13-17	130008	射場遺跡	〃 東島射場	散布地	宅地・田畑	中世	
13-18	130009	安田城跡	〃 東島射場	城館跡	山林	〃	
13-19	130010	大木戸経塚	〃 東島大木戸	経塚	宅地・畑	〃	消滅
13-20	130011	大木戸古墳	〃 東島大木戸	古墳	宅地・畑	古墳	消滅
13-21	130012	ホウゼンジ谷遺跡	〃 東島	散布地	田畑	弥生・古墳・中世	
13-22	130013	井ノ岡遺跡	〃 井ノ岡	〃	〃	縄文・古代・中世	
14- 1	130014	和田遺跡	〃 和田	〃	宅地・畑	中世	
14- 2	130015	正弘遺跡	〃 正弘	〃	〃	〃	
14- 3	130016	中山遺跡	〃 正弘	〃	畑	〃	
14- 4	130017	別所城跡	〃 別所	城館跡	山林	〃	

北　川　村

地図No.	市町村No.	名　称	所　在　地	種　別	現　況	時　代	備　考
14-31	140001	野友下遺跡	北川村野友下	散布地	畑	中世	
14-32	140002	野友城跡	〃 野友岡ノ平	城館跡	山林	〃	
14-33	140003	野友一屋敷遺跡	〃 野友一屋敷	〃	畑	〃	
14-34	140004	今山田遺跡	〃 野友	散布地	田畑	〃	
14-35	140005	石ノ内遺跡	〃 野友	〃	〃	〃	
14-36	140006	加茂遺跡	〃 加茂	〃	〃	〃	
14-37	140007	加茂城跡	〃 加茂的山	城館跡	山林	〃	
14-38	140008	権現城跡	〃 野友乙権現城	〃	〃	〃	
14-39	140009	北川城跡	〃 柏木城山	〃	〃	〃	
14-40	140010	北川玄蕃頭土居屋敷	〃 柏木マキ	屋敷跡	田	〃	
14-41	140011	松林寺跡	〃 柏木	社寺跡	社寺境内	〃	
14-42	140012	北川玄蕃の墓	〃 柏木	古墓	〃	〃	
14-43	140013	御崎城跡	〃 柏木弓山	城館跡	山林	〃	
14-44	140014	影遺跡	〃 小島影	散布地	田畑	縄文・中世	
11- 1	140015	竹屋敷遺跡	〃 竹屋敷	屋敷跡	宅地・畑	中世～近世	
11- 2	140016	竹屋敷番所跡	〃 吹越峠	交通	山林	近世	

馬　路　村

地図No.	市町村No.	名　称	所　在　地	種　別	現　況	時　代	備　考
10- 1	150001	朝日出遺跡	馬路村朝日出	散布地	田　畑	中　世	
10- 2	150002	馬路城跡	〃　城床516-1	城館跡	山　林	〃	
10- 3	150003	影遺跡	〃　影	散布地	畑・宅地	〃	
10- 4	150004	八川遺跡	〃　八川	〃	〃	〃	
10- 5	150005	甫木遺跡	〃　甫木	〃	田畑・宅地	〃	
10- 6	150006	観音堂遺跡	〃　東川	〃	田　畑	〃	
10- 7	150007	東川影遺跡	〃　東川	〃	〃	〃	
10- 8	150008	中ノ川薬師堂遺跡	〃　中ノ川	〃	〃	〃	
6- 1	150009	土川遺跡	〃　土川	〃	〃	〃	
6- 2	150010	魚梁瀬城跡	〃　魚梁瀬	城館跡	ダム湖水没	〃	
6- 3	150011	門脇中納言能登守教経住居跡	〃　魚梁瀬一ノ谷山	屋敷跡	山　林	古代・中世	
7- 1	150012	門脇中納言馬場跡	〃　魚梁瀬小石馬場山	馬場跡	〃	〃	

芸　西　村

地図No.	市町村No.	名　称	所　在　地	種　別	現　況	時　代	備　考
8- 1	160001	ヤスンバ遺跡	芸西村西分ヤスンバ	散布地	畑	古代	
8- 2	160002	アゾウ谷遺跡	〃 西分アゾウ谷	〃	〃	中世	
8- 3	160003	長谷寄遺跡	〃 西分長谷寄	〃	旧駅跡・荒地	古墳・古代	
8- 4	160004	松原遺跡	〃 西分西井ノ本	〃	畑	古代・中世	
8- 5	160005	堀切遺跡	〃 和食西ノ浜	〃	〃	中世	
8- 6	160006	大将軍遺跡	〃 和食大将軍	〃	宅地・畑	〃	
8- 7	160007	土佐藩和食砲台跡	〃 和食琴ケ浜東浜林	砲台跡	荒地	近世	
8- 8	160008	北屋敷遺跡	〃 西分字北屋敷	散布地	宅地・畑	縄文～古墳	
8- 9	160009	西分遺跡	〃 西分研屋	〃	〃	弥生中世	
8-10	160010	神福寺跡	〃 西分真福寺	社寺跡	〃	中世	
8-11	160011	熊倉城跡	〃 馬ノ上	城館跡	山林	〃	
8-12	160012	中ノ城城跡	〃 馬ノ上	〃	宅地・畑	中世	消滅
8-13	160013	藤ノ上遺跡	〃 馬ノ上藤ノ上	散布地	〃	〃	
8-14	160014	清水寺跡	〃 馬ノ上	社寺跡	畑	〃	
8-15	160015	清水遺跡	〃 馬ノ上	散布地	田畑	縄文・弥生	
8-16	160016	畦ノ谷遺跡	〃 馬ノ上畦谷	〃	畑	中世	
8-17	160017	馬ノ上城跡	〃 馬ノ上	城館跡	山林・畑・基地・社寺境内	〃	
8-18	160018	王子宮遺跡	〃 王子宮前の畑	散布地	畑	弥生・中世	
8-19	160019	御林遺跡	〃 馬ノ上	〃	社寺境内・田畑	弥生・古墳・中世	
8-20	160020	井ノ上遺跡	〃 馬ノ上井ノ上	〃	宅地・畑	中世	
8-21	160021	附野遺跡	〃 和食附野	〃	運動公園・畑・山林	弥生	
8-22	160022	和食城跡	〃 和食古成ノ丸	城館跡	宅地・畑	中世	消滅
8-23	160023	叶木遺跡	〃 和食笠松	散布地	田畑	弥生・中世	

高知県埋蔵文化財調査報告書第40集

平成６・７年度

高知県遺跡詳細分布調査概報

― 安芸ブロック ―

１９９６年3月

編集・発行　高知県教育委員会